

課題を踏まえた今後の方向性

○ICTを活用した生涯学習活動の推進

- ・生涯学習の新たな形としてオンラインやSNSを活用した取り組みを推進し、参加者の固定化を解消し、新たな層の参画を促します。
- ・オンラインやSNSの活用が苦手な方向けの講座等を企画していきます。

○生涯学習環境の整備

- ・様々な年代の方が参加しやすい環境づくりに努めます。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を図りながら、生涯学習活動を推進します。

○公共施設の有効活用

- ・新たな公共施設（マルタスや新市民会館など）を「生涯学習の学びの場」や「情報共有の場」として積極的に活用します。
- ・既存施設（図書館やコミュニティセンターなど）も引き続き「生涯学習の学びの場」として活用を継続していきます。

○学びの成果の還元

- ・学んだ成果を地域に還元できる仕組みづくりや主体的な取り組みを支援します。
- ・生涯学習クラブや社会教育団体の活動を、地域でのイベントや学校支援活動に結びつけます。

○様々な分野との連携

- ・庁内関係課、その他関係団体との連携を強化し生涯学習活動の底上げを図ります。
- ・市民ニーズの高い講座や教室を把握し、企画実施していきます。

○新たな人材の発掘と育成

- ・新たな人材の発掘に向けた取り組みや活動を支援します。
- ・人材のスキルアップのための講座等を充実します。（養成塾・いきいき講座）
- ・講師や指導者、市民活動団体等も含めた人材バンクを整理し、活用していきます。